

<p>「平成26年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」による改善結果</p> <p>世田谷区立富士中学校 世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之</p>	
<p>学校関係者評価委員会の報告 (回答を求めた項目)</p>	<p>学校の改善策</p>
<p>—学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から—</p>	
<p>I 重点目標について</p>	
<p>富士中では、今年度の重点目標として「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりをとおして、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。今年度、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」だけは、教員の休職にともなう子どもたちの戸惑いや、保護者の不安から、昨年度より数値が下がったのではないかと思われます。具体的な対策を講じ、結果に結び付けるための更なる努力が必要です。他2点の項目については、ほぼ数値目標をクリアしています。</p>	<p>学校評価を踏まえて設定した重点目標のうち、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」については、数値目標において課題を残しました。</p> <p>保護者や生徒の学力向上に対する関心や期待は高いので、確かな学力を育成するためには、教育の質の向上と量の確保が欠かすことのできない要因であり、質の向上を図るためにには、授業力向上は不可欠です。研究授業を実施することにより、全教員で検証し、指導方法の工夫・改善に取り組みます。</p> <p>保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実に向けた取組の工夫と改善に努めます。</p>
<p>重点目標及び重点目標に関連する教育活動については、学校の自己評価や学校関係者評価等の結果を踏まえて、数値による指標（数値目標）を設定し、充実に向けた取組を推進しました。その結果は、「子どもたちの行動」に関する肯定的評価は、保護者72%、地域90%でした。「ボランティア・地域活動への参加」の地域や保護者の肯定的評価は、昨年度に続き90%を超えました。学習指導の「教員の分かりやすい指導」では、生徒の肯定的評価は83%でしたが、保護者の肯定的評価は66%でした。「授業を通して学力がついた」では、保護者の肯定的評価は、昨年度より2ポイント増えました。依然として、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」については、数値目標において課題を残しました。</p> <p>今後、さらに研修や研究をとおして課題を明確にし、指導方法の工夫と改善を一層重ねながら、授業の充実を図ります。併せて、第三者評議会や保護者会等を活用して、これまで以上に、個々の学習の習得状況への認識と理解を深めるための機会を意図的に設けるなどの工夫に努めます。</p>	
<p>II 地域とともに子どもを育てる教育について</p>	
<p>地域運営学校に指定されて6年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。また「富士の学び舎」の教育活動は、小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育にのっとり、小中連携も計画的に行われています。これらの活動は継続され、安定していますが、引き続き、地域とともに「豊かな人間性を育む」ことを目指した取り組みに期待します。</p>	<p>地域運営学校として、保護者・地域の方々の学校教育に対する声を反映させながら、学校運営を推進します。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫に、さらに努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸たよりなどをとおして、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深めていただき、御支援と御協力をいただきながら教育活動を推進します。</p>
<p>保護者、地域、教職員ともに、肯定的な評価を得ていますが、「学校協議会」、「学校運営委員会」、「学び舎の活動」について、依然として、「分からない」の評価が減少していません。活動に関する広報をどのように工夫するかを考え、減少させるように努めています。</p> <p>また、「ボランティア・地域活動への参加」の地域や保護者の肯定的評価は、昨年度に続き90%を超えました。生徒の自主的な活動を支援する地域及び学校の体制は確立しています。地域や保護者の方々の協力を得ながら、地域とともに子どもを育てる教育の継続と一層の充実を図ります。</p>	

<p>III 未来を担う子供を育てる教育について</p> <p>富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、国語・数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・指導方法の工夫を取り組んでいます。併せて、各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝授業(3年生)等も定着しています。また、職場体験学習は、人と協調しつつ、自立的に社会生活を送るために必要な「人間としての実践力や生きる力を育む」重要な学びの場と考えます。さらに、今年度、富士中では「いじめ防止プロジェクト」が1年生を対象に、5回にわたり実施されました。重点目標である「確かな学力を育成することや「豊かな人間性を育む」こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。</p>	<p>本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色となっています。今後も、個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、基礎・基本や自ら学び考える力を身に付けさせるための指導を充実させます。</p> <p>生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるよう、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に、今後も組織的に取り組みます。また、自他の生命を尊重する心やすべての人への思いやりの心を育てる人権教育の充実にも努めます。</p>
<p>学習指導に関する評価は、保護者・生徒ともに、概ね肯定的な評価です。授業時数の確保に関しては、平成24年度より年間の行事計画等を毎年見直しながら時数確保に取り組んできました。今後も、生徒の実態を加味しながら、授業時数の確保に向けて、一層の工夫を重ねます。</p> <p>生徒の豊かな心を育むために、より良い支援の在り方を追求するための取組を、3年間実践しました。併せて、年間5回の生活実態調査やスクールカウンセラーを活用して、生活指導上の課題や生徒のより良い人間関係づくりに向けた指導を展開しています。さらに、支援の充実を図るための取組を組織的に進めます。進路指導に対する生徒・保護者の肯定的評価が減少しています。その理由は、進路指導をやっていないのではなく、それが進路指導につながっているのかどうかが、生徒・保護者に理解されていない結果ではないかと考えています。そこで、理解を得られるよう適切な情報提供を心がけ、より一層の指導の充実と相談活動の充実に向けた工夫を継続的に図ります。</p>	<p>今後も、指導の工夫と改善に取り組み、確かな学力と総合力の育成に努めます。</p>
<p>IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて</p> <p>学校経営方針に示された目標が、教職員には浸透しているものの、保護者・地域においては学校の運営評価は昨年度より全体的に下がりました。スクールカウンセラーの認知度も少し下がりました。今年度から1年生全員に対し、スクールカウンセラーと面談が実施されました。また「富士中だより」には、毎回、スクールカウンセラーからのお知らせなど、いろいろな情報が詳しく載っています。保護者・地域の皆様には再度お読み返しいただきたいと思います。ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせない刺激を与えてくれています。学校運営の今後の取り組みに、より一層の努力をお願いします。</p>	<p>学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組むとともに、保護者・地域にも浸透するように情報を幅広く発信するように努めます。また、個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。</p> <p>ゲストティーチャーをさらに活用することにより、生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようとするための指導の工夫に取り組みます。</p>
<p>学校経営方針に示された目標に対する評価は地域においては、昨年度より全体的にあがりましたが、保護者の運営評価は全体的に下がりました。学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組むとともに、保護者・地域にも浸透するように機会があるごとに情報を幅広く発信するように努めます。スクールカウンセラーに関しては、1年生全員に対し、面談が実施されており、認知度が昨年度に比べて少し上がりました。</p> <p>今後も学びの場を一層充実させるために、地域の方々やゲストティーチャーとの関わりを大切にします。</p>	

<p>V 教育環境の整備について</p> <p>昨年度、老朽化した冷水器5機のうち、4機が新しくなりましたが、そのうちの1機の冷水器と排水管のつなぎ目から、悪臭がしているという指摘がありました。体育館棟トイレの悪臭対策も含め、改修、改善をお願いします。また、未設置の教室へのエアコン設置など、環境改善を御検討ください。</p>	<p>冷水器と配水管のつなぎ目からの悪臭については、新年度当初に、区と連携を図りながら改善に取り組みます。また、体育館棟トイレの悪臭の原因の一つであった汚水槽のつまりについては、昨年の10月に改善しました。</p>
<p>学校に分割された予算による修繕、また学校主事による施設・環境の改善に努めていますが、老朽化に伴う修繕等の必要な箇所が突然的に発生するのが現状です。また、エアコンの設置されていない教室に関する課題は改善していません。生徒にとって安全・安心な生活を保障するためにも、安全点検に努めることをはじめ、引き続き区教育委員会とともに施設・設備の充実に取り組んでいきます。</p>	
<p>VI 学校生活全般について</p> <p>肯定的な意見が生徒・保護者ともに80%程度を維持しているものの、昨年度より、全体的にややマイナスの数値がみられました。生徒のアンケート結果は、生活指導・進路指導については年々プラスの傾向になっています。保護者の結果は、多岐にわたりマイナス数値がありました。アンケートの自由意見欄にも、生徒・保護者から多様な意見が寄せられています。その期待に応えられるように、生徒一人ひとりが落ち着いた環境を生かし、学習や学校生活に取り組み、自己を成長させる活動に全力で臨める、学校づくりをお願いします。</p>	<p>教育計画に沿った教育活動を円滑に進めるために、様々な工夫をしています。これからも、生徒・保護者・地域の方々に教育計画の内容を正しく認識していただくための説明を継続し、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。</p> <p>一人ひとりの生徒が、教育活動の様々な場面で自己のもつ能力を十分に發揮しながら成長していくように、個に応じたきめ細やかな指導を組織的に実践するための取組を継続させます。</p>
<p>授業時数の確保に関しては、平成24年度より年間の行事計画等を毎年見直しながら時数確保に取り組んでおり、今後も、生徒の実態を加味しながら、授業時数の確保に向けて、一層の工夫を重ねます。</p> <p>学校生活全般に関わる「学校生活が楽しい」「中学校が好きである」の生徒の肯定的評価は、昨年度に続き80%前後でした。落ち着いた環境の中で、個々の生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、組織的な指導の充実及び個に応じたきめ細やかな指導・支援に一層努めます。</p>	